

かしそく新聞

～訪問診療 編～

かつしか心身総合クリニック

「かかりつけ医」として在宅療養をサポート致します。

【2025・2024問題と在宅療養支援診療所の役割⑤】

☆具体例2:極端な例ですが、病院で週2回の血液透析が導入された方の訪問診療を継続した例です。糖尿病と糖尿病性腎症の高齢者の方を病院から紹介を受けて、定期的に訪問診療を開始いたしました。その後、糖尿病性腎症の悪化により紹介元の病院で週2回の血液透析が導入されました。▽これまでは、血液透析導入時点で訪問治療は中止としていましたが、主介護者が泊りのあるお仕事で数日間不在になることがあり、患者様は室内移動が辛うじてできる程度のADLで独居の状態となるため、慢性腎不全と血液透析は病院で対応して、それ以外の糖尿病等の治療と療養環境調整(ケアマネとの連携・訪問看護Stへの指示書作成・訪問介護・訪問入浴・ショートステイ先との連携)を当院で実施することで役割分担を診療情報提供書等で明確にして、関東信越厚生局と保険者の許可を得て訪問診療を継続した事例はあります。

▽在宅療養をされている場合は、療養生活環境を直接確認して、問題点があればケアマネと相談して、訪問マッサージ(医療保険)を導入したり、デイケア(医療保険)・デイサービス・リハビリを含む訪問看護への指示書(一部医療保険)・訪問介護(痰の吸引や経管栄養支持も含む)・訪問入浴等の導入やショートステイの活用と利用時の連携を図ったりする必要があります。[完] (ファミリー理事長:駒形清則医師)

～編集後記～スタッフのつぶやき～

☆今年の夏は暑いだけでなく、様々な感染症が流行したようです。「東京都感染情報センター」によると、手足口病、ヘルパンギーナ、新型コロナ、マイコプラズマ肺炎などが流行しました。なかでも、子どもの「夏風邪」である手足口病(主にコクサッキーA群ウイルス、エンテロウイルス71型)が、7月第2週に定点当たり報告数(=1医療機関当りの平均報告数)が16.5人と群を抜いて多かったようです。マイコプラズマ肺炎は、7月初旬頃から増え、まさに今(10月頭現在)2.75人まで上がり、流行がピークです。いずれにしろ、予防には手洗い、咳エチケットがベストのようです。(K)

医療法人財団ファミリー

かつしか心身総合クリニック

〒125-0041 葛飾区東金町 1-41-1 桜井ビル 2階

① ☆外来:心療内科=永井斐子院長

もの忘れ=新井田素子医師

内科=駒形清則医師

② ☆訪問診療

内科=駒形清則医師、駒形明紀医師

精神科=米谷充医師

神経内科=今井壽正医師、西岡健弥医師、平井健医師

※詳しくはホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせ下さい。

電話 03-3627-0233